

明治ステップセシウム混入ミルクについて考えた事

薬局営業部三課 千富 坂本 瑞枝

3月11日の震災により、津波の被害を受けた福島第一原発の爆発事故による放射性物質の飛散により、空気、土壌、水すべての物が汚染された。

距離が離れた場所でも放射性物質が確認され、いろいろな食べ物にもセシウムが入り込んでいるのが発見され、国民、特に子供、乳幼児を持つ親、妊婦さんを不安に陥れた。

特に今回の明治ステップへのセシウム混入は衝撃的だった。

世の中の明治のミルクを飲んでいただお子さんを持つ親はもとより、それ以外の粉ミルクを飲んでいるお子さんをもつ親はさぞかし不安だったことだと心が痛みます。

少ない量だったとはいえ、発売前になぜ検査で発見できなかったのか？
メーカーの検査体制や厚生労働省の検査基準に疑問を持たざるを得ません。

昔、森永ヒ素ミルクではたくさんの将来ある赤ちゃんが犠牲になりました。
先日厚労省は食品からの年間被爆限度を暫定規制値の年5ミリシーベルトから1ミリシーベルトに引き下げました。

しかし子供への影響を考えた値とのことですが、少ない線量を長期に被爆することへの影響は未知であるので、これからまた森永ヒ素ミルクのように被害者がでないとも限りません。

今回町田&町田商会では、メーカーの発表を鵜呑みにせず独自でミルクの検査を行いメーカー側ではない検査機関で、うそ偽りの無いマイナスの値を出せたことは、粉ミルクを飲んでいるお子さんをもつ親をより安心させることができる大変有意義な行いであり、それにより本当に地域のかかりつけ薬局としての使命が果たせたと考えます。

安全な商品の情報を責任持って提供することで、わがサカエ薬局の信頼を築き上げるとともに地域の公衆衛生向上に寄与することが可能になります。

コミュニティファーマーシーとして地域住民の健康と安全を守るため、薬剤師がお客様の最期の砦となることが出来るように品質のチェック、副作用のチェックなど、全力で取り組んでいくことを肝に銘じて仕事をしていきたいと考えます。